

1 快適な都市空間の形成

都市の骨格となる道路整備

- ・慢性的な交通渋滞の緩和を図る道路整備を推進します。
- ・平成28年度は、別府市の(都)山田関の江線では、用地買収及び改良工事を行いました。平成29年度も用地買収等により、事業の進捗を図ります。

道路空間の再生

- ・道路の拡幅や既存の道路敷内における幅員構成の見直し、歩道整備、バリアフリー化、街路灯の統一、電線類の地中化などを実施し、質的向上を推進します。
- 平成28年度は、臼杵市の(都)祇園洲柳原線では、用地買収及び改良工事を行いました。平成29年度も改良工事等により、事業の進捗を図ります。

都市公園の整備

- ・大分スポーツ公園にスポーツ振興や、広域防災拠点等に利用できる屋内スポーツ施設を建設します。
- ・大銀ドームではラグビーワールドカップへ向けて、老朽化した音響等の更新を行います。



ボトルネック解消((都)山田関の江線：別府市)



(都)祇園洲柳原線(整備中)



完成イメージ



(国)500号



完成イメージ



屋内スポーツ施設イメージパース図



大銀ドーム音響更新

【目標指標】

指 標	基準値		28年度			31年度	36年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値
主要渋滞箇所対策を講じる箇所数	H26		2箇所	2箇所	100.0%	21箇所	30箇所
1人当たり都市公園面積	H26	13.1m ² /人	13.1m ² /人	13.2m ² /人	100.8%	13.2m ² /人	13.4m ² /人
都市内の街路整備延長	H26	502km	505km	505km	100.0%	507km	510km

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	計画的に主要渋滞箇所対策を講じたため、目標値を達成した。
達成	整備水準の目安となる1人当たりの都市公園等面積について、計画的な整備により目標値を達成した。
達成	計画的な整備により目標値を達成した。

2 潤いのある水環境の創設

生活排水処理対策

- ・「大分県生活排水処理施設整備構想 2015」に基づき市町村と連携し生活排水処理対策を推進しています。
- ・下水道整備や合併処理浄化槽への転換を推進する市町村に支援しています。
- ・整備に時間を要する下水道区域は浄化槽区域へ変更するなど、市町村に効率的な整備手法への見直しを促しています。

住民参加の水環境づくり

- ・地域住民が参加する生活排水処理対策等の水環境づくりを推進するため、関係機関が連携して啓発活動を実施しています。

良好な河川・海岸環境づくり

- ・多様な生物が生息・生育する水辺の保全や復元、人と水とのふれあいの場の創出など、水辺環境の整備に努めています。

親水空間の創出



H29.7.23 田ノ浦ビーチ「マリンスクール'17」

小学校への出張教室



H29.7.4 久住小学校



H29.7.11 佐伯小学校

各種イベントでの普及啓発活動



H29.5.5 玖珠町童話祭

【目標指標】

指 標	基準値		28年度			31年度	36年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値
生活排水処理率	H26	72.3	74.8	74.9	100.1%	79.7	88.2

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	市町村に対して財政面及び技術面の支援を行い、目標を達成しました

3 快適な住まいづくりの推進

県営住宅の建替

城南北ブロック建替工事に平成27年度から着手し、平成28年度にHRR-2棟42戸が完成しました。

段差のない移動経路、手すり設置及びエレベーター設置により、高齢者や障がい者にも安心して安全な住環境を提供しています。

建替前



➔

建替後



住戸内バリアフリー（段差なし 引戸の採用 WC・浴室・玄関に手すり設置）が標準です。
1階は高齢者対応タイプとなり、加えて玄関入口の引戸、浴室・便所の緊急通報システムが標準です。

県営住宅の改善

劣化の程度が大きいものについて、優先的に外壁や防水等改修工事を実施し、建物の長寿命化を図っています。

エレベーターの設置されていない県営住宅の1階部分の住戸において、浴室やトイレに手すりや給湯設備等を設置し、高齢者の利用に配慮した改善工事を行っています。

浴室



改修前



改修後

浴室の床をかさ上げて段差をなくし、手すり、給湯器、シャワーを設置します。

トイレ



改修前



改修後

和風便器を洋風便器に交換して段差をなくし、手すり、非常呼び出しボタンを設置します。

【目標指標】

指 標	基準値		28年度			31年度	36年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値
県営住宅住戸内バリアフリー整備戸数の割合	H26	31.2	32.4	32.7	100.9%	33	35

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	建替事業及び高齢者向け改善事業で住戸内のバリアフリー化を実施した。

4 「おんせん県おおいた」のツーリズム支援

主要な観光地を結ぶ道路整備

- ・主要な観光地間を周遊するルートや、地域道路ネットワークを構成する主要な観光地へのアクセス道路について整備を進めます。
- ・平成28年度は、菅原戸畑線慈恩の滝工区の開通により、道の駅「慈恩の滝くす」(H28.7開業)と連携してツーリズム振興に寄与しました。



菅原戸畑線 慈恩の滝工区

良好な景観の保全・再生・創出

- ・本県の恵まれた自然景観や文化を観光資源として活かすため、国民文化祭(H30.10)ラグビーW杯(H31.9)に向けて主要観光ルートの防護柵の更新や支障木伐採を引き続き実施しています。

《景観に配慮した防護柵の更新事例》

別府一の宮線(九重町田野)



《更新前》



《更新後》

おもてなしの道路管理

- ・観光地へのアクセスルートにおいて、道路案内標識の英語表記適正化(1)を進め、また、消えかけた区画線の更新(2)を実施し、来県者が目的地まで分かりやすく、安全に運転できる道路環境の創出・維持に取り組んでいます。

1 《道路標識の英語表記の適正化》



Beppu Port

Beppu International Port

2 《区画線の更新事例》国道210号(大分市大道)



《更新前》



《更新後》

平成28年度実施：県道塚原天間線外15路線、延長約3.6km

観光施策等と連携した取組

- ・県が推進する「ツーリズム戦略」などの観光施策等と連携し、魅力ある道路環境の整備等に取り組めます。
- ・スポーツツーリズム支援として、別府一の宮線(九重町大字田野 延長約2km区間)において、路肩拡幅等による道路環境整備(トレーニングコース整備)を実施します。

